

## 『セーフティ&セキュリティ入門』 正誤表

第1刷(2021年10月26日発行)までにおいて、誤りがありました。

お詫びするとともに以下のように訂正いたします。

2022年11月29日 日科技連出版社

### 誤記訂正表

頁	訂正箇所	誤	正																		
1	1行目	(Security) のも	(Security) も																		
8	7行目	また、セーフティ・クリティカルシステム(システムのうち安全性に……	7行目の前に以下の見出しを入れ、7行目冒頭の「また、」を取る。 <b>(4) セーフティ・クリティカルシステム</b> セーフティ・クリティカルシステム(システムのうち安全性に影響……																		
9	9行目	規格 <b>規格</b>	規格																		
11	1行目	自動運転レベル3への対応する目的	自動運転レベル3へ対応する目的																		
36	下から8行目(25行目)	社会 <b>課程</b>	社会過程																		
38	8行目	システム <b>マ</b> ティック	システムティック																		
38	下から8行目、下から1行目	ベルランフィ	ベル <b>タ</b> ランフィ																		
128	Column4の2行目	その解決アプローチとして「問題の分析	その解決アプローチとして問題の分析																		
135	図5.3	<b>教養</b> 可能な値の	許容可能な値の																		
165	6行目	CAE (Ci <b>a</b> im	CAE (Cl <b>a</b> im																		
166	表6.2	表6.2の「内容」の欄の位置がずれている。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>図式要素</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主張(ゴール)</td> <td style="text-align: center;"></td> <td>保証したいこと、命題(例:システムは安全である)ゴールはさらに詳細なゴール(サブゴール)に分解される</td> </tr> <tr> <td>説明(ストラテジ)</td> <td style="text-align: center;"></td> <td>ゴールをサブゴールに分けるときの考え方(例:個別の障害ごとに議論する)</td> </tr> <tr> <td>証拠(エビデンス)</td> <td style="text-align: center;"></td> <td>ゴールが成り立つことを最終的に保証するもの(例:テスト結果、運用事例など)</td> </tr> <tr> <td>前提(コンテキスト)</td> <td style="text-align: center;"></td> <td>システムの状態、環境などゴールを議論するときの前提等(例:リスク分析の結果得られたハザードのリスト)</td> </tr> <tr> <td>未定義要素</td> <td style="text-align: center;"></td> <td>ゴールを保証するための十分な議論又はエビデンスがない(これはゴールやストラテジーにつけることができる)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	図式要素	内容	主張(ゴール)		保証したいこと、命題(例:システムは安全である)ゴールはさらに詳細なゴール(サブゴール)に分解される	説明(ストラテジ)		ゴールをサブゴールに分けるときの考え方(例:個別の障害ごとに議論する)	証拠(エビデンス)		ゴールが成り立つことを最終的に保証するもの(例:テスト結果、運用事例など)	前提(コンテキスト)		システムの状態、環境などゴールを議論するときの前提等(例:リスク分析の結果得られたハザードのリスト)	未定義要素		ゴールを保証するための十分な議論又はエビデンスがない(これはゴールやストラテジーにつけることができる)
			名称	図式要素	内容																
			主張(ゴール)		保証したいこと、命題(例:システムは安全である)ゴールはさらに詳細なゴール(サブゴール)に分解される																
			説明(ストラテジ)		ゴールをサブゴールに分けるときの考え方(例:個別の障害ごとに議論する)																
			証拠(エビデンス)		ゴールが成り立つことを最終的に保証するもの(例:テスト結果、運用事例など)																
			前提(コンテキスト)		システムの状態、環境などゴールを議論するときの前提等(例:リスク分析の結果得られたハザードのリスト)																
未定義要素		ゴールを保証するための十分な議論又はエビデンスがない(これはゴールやストラテジーにつけることができる)																			